

平成21年度通常総会議事録

特定非営利活動法人
大分県芸術文化振興会議

1 日時：平成21年6月18日（木）15：00～16：30

2 場所：大分市府内町1-1-1 大分第一ホテル8F 九重の間

3 次第

(1) 開会

(2) あいさつ 理事長 佐藤朱音

(3) 祝辞 大分県企画振興部審議監 奥塚正典
(部長急用のため変更)

(4) 総会成立宣言

正会員総数 (団体会員)	161名	(個人会員)	141名	
			合計	302名
			[実出席者数]	96名
			[書面出席者数]	87名
			合計	183名

(5) 議長選任

議長に松井 猛 氏 (大分県民謡研究会萬謡会) を選任する。

(6) 議事録署名人の選任及び書記の指名。

議事録署名人の選任

正会員 田島豊子 (杵屋六昇) 氏

正会員 堀内輝生 氏 を選任。

書記の指名

事務局 橋本奈穂

(7) 議事

4 議事の経過の内容及び議決の結果

(1) 第1号議案平成20年度事業報告

第2号議案平成20年度決算報告及び監査報告

(議長) 第1号議案、第2号議案は関連があるので、一括審議したい。
説明を求める。

(事務局) 総会資料1頁～6頁に基づき説明。

平成20年度事業報告については、資料にあるとおり、事業や運営のため会議を行った。

特定非営利活動に係る事業は資料掲載のとおり。

大分県内の芸術文化団体の連絡提携事業

通常の事務局業務のほか、12月の交流会「文化を語る夕べを開催」
芸術文化事業の企画実施及び人材育成事業

- ・文化キャラバンは37会場で実施、詳細は別紙。児童生徒さんを中心に10,121名が鑑賞。
- ・3月29日、芸振文化事業「扇乃助舞踊セレクション2009」開催。一般からも大勢入場があり、若い人たちの活躍を後押しするとともに広く芸振の名前(活動)を知っていただく良い機会となった。会員の協力にお礼。
- ・海外派遣研修事業では、大分演奏家協会推薦の緑川羽奈さんベルギーでの研修に補助。
- ・県民芸術文化祭は第10回記念。2つの記念事業、日本舞踊連盟の開幕など、207行事で盛大に開催。
- ・その他、受託事業では平成18,19年度に引き続き、オルガンフェスティバルの開催事務。大分県の委託事業として、青少年舞台芸術鑑賞事業、香りの文化振興事業を受託。

芸術文化団体の事業の推進援助事業

- ・58事業に補助(別紙一覧)

文化芸術活動関係資料の収集・調査研究及び機関誌等の情報発信事業

- ・機関紙の発行は年2回。126、127の発行。
- ・大分県文化年鑑2008の編集準備。発行は21年度事業。

その他の事業は実施しなかった。

平成20年度決算については総会資料、当日配布参考資料を用いて説明。
収入 会費・入会金収入、賛助会員会費は文化を語る夕べの会費及び県補助金、事業チケット代金、委託料(青少年舞台芸術鑑賞事業・香りの文化振興事業)等の事業収入その他で、収入合計23,621,033円

支出 定款にあげている事業の 4 事業に合計 17,568,049 円を支出。
管理費合計は 7,043,719。支出合計は事業費、管理費に雑損 129,000 を加えて支出合計 24,740,768 円。

ここで雑損が、今後入金の見込みのない退会者等の未収会費の会計上の処理であることを説明。合わせて、今後「会費未集金の取り扱いについて」は理事会に委任をすることを提案。芸振は収益事業を行っていないという考え方で会計処理、関係機関への報告を行っているため、わかりにくい説明となることに了解を求める。

収入計 23,621,033

支出計 24,740,768

収支差額 1,119,735 となり前期繰越収支差額 2,299,784 から 1,119,735 を繰り入れ。当初予算では 986,000 の繰り入れの見込み、ほぼ予定通りの決算となったことを報告。さらに備品の減価償却費 141,421 の減少を加えて当期正味財産の減少は 1,261,156 となり当期正味財産の合計は 1,379,663 となった。

貸借対照表・財産目録では、同様に、流動資産（現金、預金、未収金、立替金の計）が 3,274,494、立替金は 21 年度事業・青少年舞台芸術鑑賞事業、固定資産（備品）が 199,614 で資産の計は 3,474,108。負債は、未払い金と預り金（P6 財産目録に内訳）計 2,094,445 となり、今期の正味財産は 前期正味財産 2,640,819 に増加は 0、減少は資金収支での繰り入れ 1,119,735 と減価償却費 141,421 の計 1,261,156 となり、今期正味財産は 2,640,819-1,261,156 で 1,379,663 です。資産に対して負債と正味財産の計は同額、3,474,108 であることを説明。

未収・未払が大きいのは 3 月に自主事業、香りの文化振興事業を実施したため。

（議長） 引き続いて、代表監事に監査の報告をお願いする。

（監事） 理事の業務執行、法人の財産状況について、指摘すべき事項がない旨報告。

NPO 法人の報告義務、多数の事業実施と組織運営、会計などの業務をこなすには現体制では大変だが、よくがんばっている。自主事業などで会員の協力をお願いする。

（議長） 第 1 号議案から第 2 号議案までの質疑を求める。

（出席者）説明資料の言葉をもっとわかりやすくしてほしい。

（ 21 世紀の童謡を創る会）

（事務局）わかりやすい資料を心がる。

（議長） 他に質疑を求める。

（出席者）全員異議なし。

(議長) 原案の通り、可決したと述べる。

(2) 第3号議案平成21年度事業計画案

第4号議案平成21年度予算案

(議長) 第3号議案、第4号議案は関連があるので、一括審議したい。
説明を求める。

(事務局): 総会資料12~18

平成21年度事業計画について

NPO設立から3年が経過、理事会の回数を増やしてこれまでの検証をする。

事業計画は20年度と同様。

連絡提携事業 通常の事務局業務。文化を語る夕べの開催。

企画実施人材育成事業

- ・文化キャラバンは資料P14一覧のとおり。実施会場の都合もあり、すでに理事会で希望をとりまとめ、32会場での実施を計画、既に実施している会場もある。大分県文化スポーツ振興財団も9会場で協力。
- ・第11回大分県民芸術文化祭の事務も例年どおり。
- ・県の事業の受託では、青少年舞台芸術鑑賞事業はすでに受託、実施。香りの文化振興事業は予定。
- ・自主事業は実施。内容についてご提案をお願い。
- ・海外派遣研修事業は、新潮流の会推薦の広岡茂樹さんがイタリアでの研修に補助

推進援助事業

- ・補助事業の「芸振補助金」についてはP15、16に交付計画案。
(事業詳細は昨年の計画書を元に作成)
周年・記念の事業については例年の倍額程度、最低は3万円、ア、イの団体の事業には昨年より大体1万減ということで計画。

調査研究・情報発信事業

- ・機関紙はなるべく3号の発行を目指す。
その他、20年度と同様。

今後、密な理事会を開催していく中で、定款の目的を達成するための取り組みを考えていく。22年度事業についての希望が例年遅れ気味であることから、締め切りを12月15日とした。期日厳守をお願い。

21年度予算について

収入は、おおよそ昨年並み、事業関連収入はオルガンフェスティバルがないため、昨年より減額。また、今回は前期繰越収支差額からの繰り入

れは 370,000。本来は繰り入れなしが望ましい。このままでは、いずれ繰り入れできなくなるので、事業の改革をせざるを得ないかと考えている。支出は昨年より減。事業費、文化キャラバンは32会場での実施、財団の協力があるので、芸振が経費負担をするのは23会場分。その分予算を削減。補助金も同様に予算を削減。(計画で説明したとおり)管理費はおよそ昨年並で計画。

(議長) 第3号議案から第4号議案までの質疑を求める。

- ・ 文化キャラバンではこれまでずっと公演を希望しているが近年採用がない。複数回公演しているところもあるようだが、理由を説明してほしい。(県庁職員吹奏楽団)

(議長) 事務局説明してください。

(事務局) 文化キャラバンは希望(87会場)から32会場の実施。できれば、全部実施したいところだが、予算もあり困難。その開催会場の希望も大切にし、公演団体のバランス、地域のバランスを考えてこの計画となった。今後努力する。

(議長) 事務局も計画に苦慮しているようですが、次回には今のよう
なご意見にも配慮して計画をするということ。了解を求める。

(出席者) 全員異議なし。

(議長) 原案の通り可決したと述べる。

(3) 第5号議案役員報酬について

(議長) 第5号議案について事務局に説明を求める。

(事務局) NPO設立から役員の報酬は無報酬としてきている。21年度も役員は無報酬とすることを提案する。

(議長) 第5号議案の質疑を求める。

(出席者) 全員異議なし。

(議長) 原案のとおり可決したと述べる。

5 閉会

6 出席役員

[理事]

佐藤 茜	伊勢方信	大崎輝彦	小川善規	辛島光義	久保木真人
清末典子	柴田 束	土谷正公	恒川睦子(藤間次登)	戸口勝司	
中野幸和	永見政子	二宮昌昭	狭間 久	日名子金一郎	
渡辺恭英					

[監事]

佐藤教明 首藤悦爾 上田耕作

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 2 1 年 6 月 1 8 日

議 長 松井 猛

議事録署名人 田島豊子

議事録署名人 堀内輝生